

広報

びらとり

2012 年

5

No.615

二風谷ファミリーランド 桜 (5/7)

今月号は…

- 「エリアメール」で防災情報を配信
- 平成 24 年度 町民税 1%まちづくり事業が決定
- 不妊治療費助成事業を開始
- 町内でフリースポットが利用できます
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

災害時の緊急速報

『エリアメール』で防災情報を配信

☒ エリアメールとは

緊急速報「エリアメール」は、気象庁が配信する緊急情報や国・地方公共団体が配信する災害・避難情報などを、特定エリアへ一斉配信するサービスです。

緊急速報「エリアメール」が配信されると、携帯電話の画面にポップアップ（配信内容を自動表示）し、専用の着信音とバイブレーションでお知らせするものです。
平取町では、5月1日より運用を始めました。

☒ エリアメールの受信にあたり

- ・受信するための事前登録は不要です。
- ・受信料や通信料、情報料はかかりません。

☒ 配信する情報



- ・受信すると専用の着信音が流れます。
- ・平取町内全域（電波の届くエリア）に配信されるため、町民以外でも町内にいれば情報の受信ができます。（送信時に町外にいる場合は受信できません）

- ・気象庁が配信する緊急地震速報。
- ・町が配信する避難準備情報、避難勧告、避難指示など。（緊急性のある場合に配信する情報）

☒ 注意

現在はNTTドコモのみ対応しており、KDDI（au）、ソフトバンクについても配信可能となった時に、改めて周知いたします。



被災の恐れのあるエリアに一斉配信

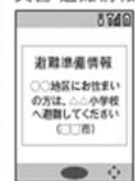
- ・携帯電話の全画面にポップアップ表示します。
- ・緊急地震速報と、災害・避難情報は、それぞれ異なる専用警告音で、お知らせします。
- ・受信メールボックスに専用アイコン表示で保存されます。

緊急地震速報



※画面はイメージです。

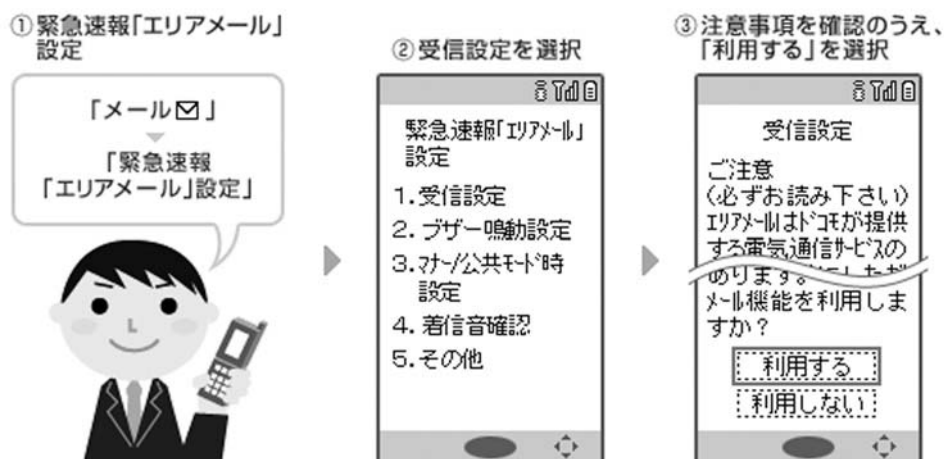
災害・避難情報



※画面はイメージです。

- ・お申込み不要
- ・通信料、月額使用料、情報料は無料

☒エリアメールの設定



※画面はイメージです。機種によって異なりますので、取扱説明書でご確認ください。

N T T ドコモの携帯電話でも、一部に対応していない機種があります。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>

※イラストはN T T ドコモホームページから引用



防災情報はここでも
携帯電話を持っていない場合は、次の2か所で知ることができます。

○ふれあいセンターびらとり
○びらとり温泉

平成22年10月、町と北海道コカ・コーラボトリング(株)の間で防災協定が結ばれ、災害対応型自動販売機を設置しました。上部に設けられた電光掲示板に防災情報、地域情報などが表示されるほか、災害時には飲料水確保のため、無料で飲料水が提供されます。

◇DIGとは？
東日本大震災などの大規模災害では、地域の住民同士の助け合い（共助）が大きな力となり、多くの命が救われました。DIGは、その共助に着目した防災訓練で、参加者全員（町内会や自治会など）で大きな地図を囲み、危険箇所をはじめ

東日本大震災発生より1年が経過し、その教訓から国や道、地方公共団体では新しい防災計画等の策定に取り組んでいます。
しかし、災害が発生した時、「公助」だけでは限界があり、「自助」や「共助」が被害の拡大を防ぐために必要となります。
町でも、日高西部消防組合平取支署の協力により、様々な災害発生時に個人、家族、地域が対応できる心構え育成のために、各自治会を対象にDIG（災害図上訓練）研修会を予定しています。

☆DIG研修会を実施します

めとした、地域に住んでいる人ならではの情報や避難経路を書き込み、みんなで一緒に災害時の対応策を考える訓練です。
その中で、自分や家族が住む地域に起こるかもしれない災害を、より具体的なものとしてとらえることを目標としています。
研修会に一人でも多く参加することで、より確かな情報が共有できます。
みんなで地域の安全を考えてみませんか。



平成24年度町民税1%まちづくり事業が決定!!

「町民税1%まちづくり事業」は、今年も魅力あふれる12の事業が、まちづくり会議により決定され、小西正男委員長から川上町長へ答申されました。



答申の様子

秋に札幌競技かるた会会長を招き、「上の句競技かるた」の体験イベントを行う。

3. 幌尻祭花火大会【振内新世会】

納涼打ち上げ花火大会を開催し、地元でも大花火が見られるイベントとして、地域に根付き、町民の皆さんにも協力していただけるようなイベントを目指す。

4. 日本ハムファイターズ

フィールドクラブ

【日本ハムファイターズ平取後援会】

北海道出身者及び日本ハムファイターズのプロ野球OBによる野球教室を実施し、町内小・中学生の野球部員の技術向上、野球愛を育成する。

5. ニューファーマーフォローアップ事業

【ふれない就農者受入協議会】

ネオフロンティア

ニューファーマーを対象に、栽培技術のレベルアップを目的に外部講師を招き、定期講習会を実施する。

受入側を対象として、離農農家への第三者継承に関する勉強会及び情報交換会を実施する。

継続した新規就農候補者獲得のため、振内にて現地視察会を実施し、農家との交流会を実施する。

6. 子ども会の育成活動

及び自治会環境美化建設事業

【荷菜自治会・荷菜大空子ども会】

子ども会の事業活動の中で、循環型による物の大切さ、協力の精神を養う。廃品回収活動のためのステーションの設置及び回収品収納庫の設置により、クリーンな地域の環境づくりに貢献し、子ども会の活動促進を図る。

7. ふれスポきつず

【特定非営利活動法人平取町】

ふるさと親子留学推進協議会親子のスポーツコミュニケーションを通して、子どもたちの基礎体力と基礎運動能力の向上を図り、地域の健康意識の醸成、地域貢献を目指す。

8. 地域と都市交流のための

食育コミュニケーションづくり

【特定非営利活動法人ほかげ】

食育に活用できる施設をつくることにより、地域内のコミュニケーションとしての利用、地域外（主に都市部）との食育交流の拠点とする。

9. イザベラ・バードと平取町の歴史に

親しむ普及啓発プロジェクト

【イザベラ・バードの道を辿る会】

英国の女性旅行家イザベラ・バードが明治11年に平取を訪れた際に、アイヌの人々と交流し、義経神社を訪れ、世界にアイヌ文化を紹介したことを広く町民に伝え、その歴史的意義をまちづくりに活かしていく。

が明治11年に平取を訪れた際に、アイヌの人々と交流し、義経神社を訪れ、世界にアイヌ文化を紹介したことを広く町民に伝え、その歴史的意義をまちづくりに活かしていく。

10. 新規就農者家族の

受入サポート事業

【本町地区新規就農受入協議会】

「アンビシャス」

新規就農を目指す家族に対し研修・実践のサポート及び生活全般のアドバイスを行い、独立・農業経営に向けてバックアップする。

11. びらとりサイエンスフェスティバル

【びらとりサイエンスフェスティバル 実行委員会】

町内の小・中学生とその親を対象にして、科学工作・ものづくりの体験とサイエンスショーの公演を通して、理化学に興味を持ってもらい、夏休みの自由研究や、今後の学習意欲に役立ててもらう。

12. 高齢者情報技術啓蒙活動

【平取町高齢化ITクラブ】

軽快にITを親しめるよう、タブレット端末を活用したコミュニケーション、買い物支援、安否確認、多岐にわたる学習活動などを推進するためにタブレット端末を購入し、多くの方々がITを体験できる場を設ける。

1. 古典音楽「雅楽」の後継者育成事業

【日高雅楽会】

伝統文化（雅楽）の保存・伝承活動を通して、後継者の育成と発表会を開催して古典音楽鑑賞の機会を提供する。

また、第10回の節目に当たる観月演奏会に楽琵琶、楽服を購入し、演奏活動を充実させる。

2. びらとり上の句・下の句

かるたやろう会

【はくと かるた会】

かるた遊びを通じて大人・高齢者と、子どもたちの交流を深め、毎月2回程度、練習会を行う。

不妊治療費助成事業を開始

不妊治療を受けている方の経済的負担を軽減するため、今年度から治療費の一部助成を行っています。

1. 助成の対象者

- ① 法律上の婚姻をしていること
- ② 夫婦ともに町内に住所を有し、いづれか一方もしくは両方が、申請日の1年以上前から引き続き在住していること
- ③ 医療保険法各法に規定する被保険者又は組合員もしくは被扶養者であること
- ④ 夫婦ともに町税等を滞納していないこと

2. 助成の対象治療

不妊検査、一般不妊治療、人工授精、特定不妊治療
(体外受精・顕微授精)

3. 助成の内容

一組の夫婦に対し、10万円を限度とし、治療費の一部を助成します。

※ただし、平成24年4月1日以降の治療が対象です。

4. 申請の方法

申請書に記入し、必要な関係書類(申請分の領収書・医療機関の証明書等)を添えて申請してください。限度額に達する前にも途中申請できますので、ご相談ください。また、事前に保健師との面談があり、詳しい申請方法等についてお伝えします。



5. 問合せ先

保健福祉課 保健推進係

☎ 4・61112

町内でフリースポットが利用できます



最近、スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコン等の普及により、誰でも無料でWi-Fi(ワイファイ)を経由し、インターネットに接続できる場所が増えています。

大型店舗やファストフード店、公共施設等で利用ができ、町内でも2か所「フリースポット」に対応しています。

- ▽ふれあいセンターびらとり
- ▽アイヌ文化情報センター

フリースポットとは？

フリースポットとは、FREESPOT協議会により運営されている全国的なサービスで、無線LANでインターネットに接続できるお客様に開放し、自由に使用していただけるエリア・サービスのことをいいます。

これまでのモバイル通信をはるかに超える、高速無線LAN+ブロードバンド回線で接続できることで、快適な操作が実現し、これからのネットワーク社会の新たなインフラとして、飛躍的な拡大が見込まれています。

利用するには？

フリースポットは、不特定多数の方が無料で利用できることから、不正アクセスやサイバー犯罪等を防ぐために、メール認証機能を実施しています。メール認証機能とは、利用者のメールアドレスを取得することにより、事件発生時に利用者特定することが出来る機能です。

事前にフリースポット協議会ホームページで登録すると、半年間無料で利用でき、直前に利用する場合は、接続可能な場所でメールアドレスを認証します。



利用できる場所には、表示があります

まちの広場

(すずらのまち びらとり)

G1 障害レース 2 冠達成 !!

川向 (有) 清水牧場 (4/14)

春の障害レース最高峰・中山グランドジャンプ(中山競馬場)でマジェスティバイオ号が、昨年の中山大障害に続き、G1 障害レースを制覇しました。

レースは、2着バアゼルリバーに8馬身差をつけ、1番人気の期待に応え、競馬ファンを大いに魅了しました。レース終了後には、川上町長をはじめ牧場関係者がお祝いに駆けつけ、祝福していました。

清水牧場生産馬がG Iレースを次々と制覇する快進撃に、地元牧場関係者にもさらに弾みがつく大勝利となりました。



のんびり歩いて春を感じよう

みんなで歩こうDAY (4/16)

健康づくり・介護予防の一環として「みんなで歩こうDAY」が、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

この日は2本のポールを貸出し、ノルディックウォーキングも取り入れ、約5kmのコースを歩きました。

参加者は荷菜までの道のりを、会話も楽しみながら歩きました。

※毎月開催してますので、お気軽にご参加ください。

「まちをキレイに」を合言葉に…

第8回 日高路クリーン作戦 (4/21)

連合北海道日高地域協議会は、7つある地区連で一斉にクリーン作戦を実施しています。

平取地区連合では、大人から子どもまで約50名が参加し、本町地区のごみを拾って行きました。

爽やかな青空のもと、まちをきれいにする心が参加者の中で育まれ、道端のごみ、排水路付近に飛散した大きなごみまで拾いました。

地区連合では、今後も回数を重ねながら、少しでも地域に貢献していきたいと話してくれました。





大正時代を現代に伝える

平取町地域イオル再生事業 チセノミ (4/22)

伝統家屋チセの新築を祝う「チセノミ」が、二風谷コタン再現地で行われました。

祭司は道アイヌ協会平取支部長の木村英彦さんが務め、アイヌプリ（アイヌの習慣）によって進められました。落成のお祝い「チセチョッチャ」をはじめ、神々への祈りの儀式「カムイノミ」を行いました。イオル再生事業によるチセは5棟目になり、大正時代のチセを参考に建てられました。

横断歩道を上手に渡れたよ

バチラー保育園 (4/27)

町交通安全推進委員会では、町内の保育所、小・中学校を対象に、交通安全を推進する「交通安全青空教室」を開催しています。

この日、バチラー保育園では、園内に設けた交差点を使い、信号機の確認と横断歩道の渡り方を教わりました。年長組の園児たちは実際の道路でも学習しましたが、どの子も体いっぱい元気よく手をあげ、上手に道路を横断できました。



プロ野球選手とのふれあい、学び

日本ハムファイターズフィールドクラブ (5/5)

町民税1%町づくり事業の採択をうけ、北海道日本ハムファイターズフィールドクラブが開催されました。

講師に、元プロ野球選手の池田剛基氏、村上真哉氏を迎え、キャッチボールやバッティングの基礎的な技術のほか、普段の食事の大切さ、グラウンドを使えることの感謝についても指導されていました。

雨天により室内開催となりましたが、参加した紫雲古津小 沖田郁弥くんは「2年前とは違うことも教わったので、どんどん実践したい」と話してくれました。



親子でドキドキ、ワクワク自然体験 振内親子ハイキング (5/5)

振内自治会主催の「振内親子ハイキング」が実施され、約40名の親子が参加しました。

小雨の中、振内青少年会館を出発し、仁世宇園まで約7kmの道程を、子ども達は元気いっぱいに歩きました。

到着すると、仁世宇園から提供いただいた山女魚約3,000匹の稚魚を仁世宇川に放流したり、山女魚釣り大会で盛り上がりました。

昼食には豚汁、釣った山女魚のから揚げを美味しくいただき、親子で楽しい時間を過ごしていました。



教育委員会からのお知らせ

低学年のうちから家庭学習習慣を身につけるための声かけを

「北海道の高校生は〈宿題が出れば宿題をする〉割合が全国平均よりも高い。一方、〈予習や復習をする〉〈興味あることを調べたり、確かめたりする〉等の割合は低く、“受身”の傾向が強い。…」これは、3月に北海道立教育研究所がまとめた報告の冒頭に紹介されている内容ですが、それに続けて、「宿題を与える学校の取り組みに改善の様子が見られるのに対して、宿題をする児童生徒が減少しており、課題を与えられてからそれに向かう傾向が強く、学習時間も明らかに短い…」と、小・中学生の時から同様の傾向があることを指摘しています。

子どもを学校に通わせて間もない保護者としては、「自分から学習する習慣を身につけてほしい」と願ってはいるものの、「他にもいろいろな体験・経験をして心身ともに成長していつてもらいたい」という思いから、「あまり小さなうちから勉強、勉強とは言いたくない」という気持ちになるのも頷けます。ただ、学習習慣を自然に身につけるには、保護者から“いつ勉強する”という声かけは必要です。

学習習慣は学年が低いほど生活リズムと密接に関わっています。起床、就寝、洗顔、遊び、手伝い、会話…。毎日の生活の中に家庭学習の時間も位置づけ、生活のリズムができるようにすることです。勿論、「勉強やったの?」と言葉をかけるだけでは学習習慣は育ちません。



上級生と一緒に縦割り班対抗ゲームなどを
楽しむ『1年生を迎える会』の様子(平取小学校)

- ①「何時から何時まで勉強する」ということをよく話し合い、いつも決まった時間に、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。(長時間やるよりも頻度を増やします。)
- ②整頓させることから始め、いつも同じ場所で落ち着いて学習できるようにテレビを消しましょう。(勉強部屋は不要。食卓で好きなテレビの前の10分、20分からでも)
- ③やりっ放しにならないよう(途中まで一緒に勉強につきあい)、子どもが学習したことに目を通し、ほめたり、励ましたりしてやることで子どものやる気が変わります。



中学校最初の参観日(平取中学校1年B組)

小学校高学年や中学生になれば、自分で考えられるようになりますが、それでも習い事や少年団活動等で生活が変わると時間のやりくりは難しいものです。大人でも、新しい環境に入ればそれまでの習慣をつくりかえるのに時間がかかります。習慣がついていない場合は引き続き声かけが必要です。

子どもたちのこれからを考えると、低学年のうちから家庭学習の習慣を身に付けることは、ただ学校での学習を補って定着を図ったり、成績を上げるためだけでなく、見通しを持ってこつこつ頑張る力や自分の責任や役割をきちんと果たす力を育み、人生設計力の土台をつくる一環としても大変重要な意味を含んでいるものなのです。

～お詫びと訂正～

「広報びらとり」4月号の8ページ「町内小・中学校に着任した教職員に辞令交付」の記事の上段の写真、【後列左から】の部分で「石居年光教諭(平取小)」とあるのは「中島清人事務職員(平取小)」の誤りでした。関係の皆様にお詫び申し上げ、訂正いたします。

新年度活動スタート

～放課後子ども教室～

二風谷小学校と貫気別小学校の児童を対象にしている放課後子ども教室がスタートしました。

貫気別は4月9日に27名、二風谷は13日に23名の児童が、元気なあいさつで会場に集合し、ボール遊びや、工作などを楽しんでいました。



貫気別こども教室



二風谷こども教室

～放課後子ども教室とは～

この教室では、放課後の子ども達が安全で健やかに活動できるよう、子ども達の安全管理を図る地域の方々の協力のもと、週4日間、各地区の生活館を利用して、宿題や自由遊びなどを主体とした取り組みを行っています。

高齢者大学合同入学式

4月19日に振内高砂37名、貫気別明生21名、平取義経20名の78名が入学しました。

義経大学学生自治会の磯野稔会長が「皆で一緒に仲良く学びましょう」と代表挨拶をしました。

これからの1年間、講師を招いての学習会、クラブ活動、見学旅行、学園祭など、多くの活動が予定されています。

この大学は、高齢者が自主的・自発的に仲間の輪を広げるとともに、新たな知識と生きがいのある生活確立することを目的に設立されています。随時入学も可能ですので、希望の方は問い合わせください。

教育委員会 社会教育係 (☎ 2-2619)



義経大学学生自治会 磯野会長代表あいさつ

♀ サークル訪問 ♀

◆平取義経なるこ会

「平取義経なるこ会」は、年齢が違えど、志を一にする同じ仲間としてYOSAKOIソーラン祭り

創立年	平成6年10月
代表者	松澤以久子
会員数	44名

に参加するために結成しましたが、活動はそれだけではなく、イベントの出演を通じて地域に元気を与えたり、所属する日高支部内外の他チームとの交流など、さまざまな活動をしています。

また、今年も6月に開催される「第21回YOSAKOIソーラン祭り」の参加に向け練習に励んでいます。代表の松澤さんは、「平取町のPRをしながら、精一杯踊り、弾けてきます。練習はもちろん大変ですが、踊る楽しさ、感動もたくさんあります。ぜひ私たちと一緒に楽しみましょう!」と笑顔で話しています。

《会員募集中》 代表 松澤以久子さん (☎ 2-2400)



華麗に乱舞した昨年のステージ



YOSAKOIソーラン祭りに向け特訓中

教育委員会からのお知らせ

「一本」目指し 300 人熱戦！

第 26 回 日胆柔道スポーツ少年団交流大会
兼第 21 回 文部科学大臣旗争奪北整選抜少年柔道大会選考会

胆振・日高地区の柔道少年・少女が参加するスポーツ少年団交流大会が、4月22日、平取町民体育館で開かれ、優勝を目指して熱い戦いが繰り広げられました。



柔道の発展と、少年団員の健全育成を目的とした大会で、平取町での開催は7年ぶり。8月に開催される全道大会の予選も兼ねており、団体戦の小学高学年の優勝、準優勝チームが全道大会の出場権を獲得しました。

この日は団体戦（小学校低学年、同高学年、中学生の部）、個人戦（小学1年生から中学3年生の部）、投げの形（小学5・6年生の部）に34チーム、約300人が参加。

開会式では島野誘一大会長が「前年の大会では優勝者が全道大会、そして全国大会も制しているので、努力して試合に臨んでほしい」と激励し、地元の安藤拓哉主将が「柔道精神にのっとり、正々堂々と戦うことを誓います」と力強く選手宣誓した後、各競技が開始されました。

選手たちは、監督の指示や父母からの声援を受けながら気迫のこもった試合運びを展開。日ごろの鍛錬の成果を出しきり、全力で試合に臨んでいました。

なお、平取町柔道スポーツ少年団は残念ながら全道大会の出場権は得られませんでした。

スポーツ障害を予防する「ストレッチ」

蓄積した疲労がおもな原因で起こるスポーツ障害は、事前のストレッチで筋肉や腱をしっかりと伸ばしておくことが予防のポイントです。中でも肩や肘は、どんなスポーツでも重要な部位なので、種目にかかわらず予防のためにストレッチを行うことが大切です。

野球肩・腱板損傷を防ぐストレッチ 1



野球肩・腱板損傷を防ぐストレッチ 2

テニス肘を防ぐストレッチ



※「SupportJUST」参照

チセの復元に学ぶ

～アイヌ伝統文化の今日的継承～

4月22日（日）、平取地域イオル再生事業のコタンにおいて、チセノミ（家・祈る：新築祝い）が行われました。

なごやかな雰囲気のもとでチセチョッチャ（家・射る：ヨモギの矢を射る儀式）、カムイノミ（カムイ・祈る）、ハルランナ（穀物・降った・よ）などが行われ、同時に一連の過程が建築儀礼の伝承のために記録されました。

チセを実際に建てることは、素材採取や部材の組み方といった経験が必要な技を、しっかりと次世代に伝えていくことができるという意味合いがあります。カムイノミの祈詞は、カムイへの畏敬の念と古くからの世界観がアイヌ語で表されており、厳粛な作法を学ぶ大事な機会にもなります。

地域一体となって作り上げたコタン（集落）は、平取町におけるアイヌ文化伝承の拠点として活用されています。ここ数年、チセを会場としたトマ（ござ）編みなどの制作体験講座が頻繁に行われるようになりました。アイヌ語・アイヌ口承文芸を学ぶ場としても度々用いられており、老若男女を問わず人が行き交う活気ある空間として定着してきています。また、チプサンケに伴うカムイノミ（毎年8月）のほか、ウトムヌカラ（結婚式）などの会場にも使われ、1年を通して多様な文化継承の姿を見ることができます。

チセはアイヌ文化を発信する空間としても大切な役割を果たしています。屋外展示施設として学習効果をもたせているほか、アイヌ古式舞踊、語り部による講話、アイヌ工芸の実演披露なども行っています。また、海外の少数民族や留学生、研究者など、国内外のゲストを迎えた交流の場としてもたびたび利用しています。

二風谷には、春から秋にかけてアイヌ文化学習を目的とした多くの団体旅行が訪れます。地域住民にとって見慣れたチセも、来訪者にとっては新鮮な景観として映っていることと思います。

近年のグローバル化であらゆるものが画一化されていく中、古い暮らしの知恵や技をどう伝えていくかが日本各地で問われています。

近代以前から地域の暮らしを支えてきたカヤ葺きのチセも、今は居住の場から文化継承の場へと主たる役割が移り変わっています。平取ならではの文化継承と発信は、北海道の多様性を伝える魅力になっていくのではないのでしょうか。

自然素材を主としたチセの復元は、決して一過性のものではありません。経過をみながら補修や改築も必要になります。住民が手を取り合って維持を継続していくことで、より大きな地域力につながっていくものと思います。



平取地域イオル再生事業のチセノミ
チセチョッチャ（家・射る：ヨモギの矢を射る儀式）



チセで行われるアイヌ古式舞踊

目指せ!!はつらつ健康 すこやかだより

－保健福祉課－

「子ども手当」が「児童手当」に変わります！

～今年6月分より所得制限が導入～

◇児童手当

平成24年4月1日から、子ども手当（特別措置法）にかわって、児童手当法が施行されました。

◇支給対象

児童手当は、中学校修了前の児童（15歳に到達した日以降最初の3月31日までの間にある児童）を養育している方に支給されます。

・児童福祉施設等に入所の場合、児童の父母はこの手当を受けることはできません。（施設設置者が受給者となります）

・平成24年3月31日現在、平取町で子ども手当の受給資格をお持ちの方は、原則として自動的に新しい児童手当の受給者となりますので、改めて手続きは不要です。

◇新規認定の手続き

出生・転入等により新たに受給資格が生じた場合、児童手当を受給するには、住所地の役所の窓口（公務員の場合は勤務先）に「認定請求書」の提出が必要です。

また、必要に応じて健康保険被保険者証の写し等が必要となります。

◇支給方法

平成24年6月（子ども手当2・3月分と児童手当4・5月分）・10月（児童手当6月から9月分）・平成25年2月（平成24年10月から平成25年1月分）の年3回、それぞれの10日（当日が土日・祝日の場合は、その前日）受給者の指定金融機関の口座へ振込みます。

児童手当額

区 分	所得制限額 未満の受給者	所得制限額 以上の受給者
0歳～3歳未満	月額 15,000 円 (一律)	月額 5,000 円 (一律)
3歳～ 小学校修了前	第1子・第2子 月額 10,000 円 第3子以降 月額 15,000 円	
中学生	月額 10,000 円 (一律)	

※所得制限額は平成24年6月分からです。
(平成24年10月定時振込み)

※所得制限額は、夫婦と子ども2人の4人世帯で、年収960万円程度が基準となりますが、家族構成等により異なります。

◇現況届の提出について

児童手当を受けている方は、毎年6月中旬に「現況届」を提出しなければなりません。

この届は、毎年6月1日における状況を記載し、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。町から個別に案内を送付しますので、忘れずに提出してください。この届の提出がないと、6月分以降の手当が受けられなくなりますので、ご注意ください。

◇問合せ先

保健福祉課 福祉係

☎ 4・6112



図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『バイバイ・フォギーデイ』

／熊谷達也

『あした(慶次郎縁側日記)』

／北原亜以子

『鋼の魂(僕僕先生)』／仁木英之

『和解せず』／藤田宜永

『かすていら』／さだまさし

『棟居刑事の見知らぬ旅人』

／森村誠一

『パンとスープとネコ日和』

／群ようこ

『サファイア』／湊かなえ

『西村賢太対話集』／西村賢太

『朝はアフリカの歓び』／曾野綾子

『丘の上の邂逅』／三浦綾子



【家庭・生活・趣味】

『お酢レシピ』／岩崎啓子

『パンケーキbook』／福田淳子

『ぽっちゃりさんがかわいく

スッキリ見える服』／月居良子

『家庭科の基本 できますか？

教えられますか？』／流田直



【社会・経済・その他】

『生きもののヘンな顔』／小宮輝之

『おいで、一緒に行こう』／森絵都

『「国際協力」をやってみませんか？』

／山本敏晴

6月の休館日

4・11・18・25日

7月の休館日

2・9・16・17・23・30日



～としょかんトピックス～

□4月17日、児童館（ふれあいセンター2階）に4月から通いはじめた新1年生を対象に、図書館の利用の仕方について説明しました。「走らない」「大声を出さない」

「飲食はしない」という職員の注意を聞き、子どもたちは元気な返事をしてくれました。

□4月19日、振内児童クラブ（振内青少年会館内）の児童に向けて、館内設置の検索機を使った「本の探し方」と、「図書館への貸出申込みの仕方」について説明しました。

自分で本を調べて、申し込み、届いた本を受け取るという作業を、楽しんでもらいたいと思います。振内青少年会館・貫気別支所に設置の検索機を使った所蔵資料の検索及び貸出のお申し込みは、一般の方も可能ですので、ぜひ一度お試しください。

□図書館入口にベビーカーを設置しました。

赤ちゃんをお連れの方は、ご自由にお使いください。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【6月】

※巡回時間が変わりました。ご注意ください。

5日（火）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前

11:30～12:00 貫気別生活館

13:15～13:45 芽生生活改善センター

14:00～14:30 旭生活館

6日（水）【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館

13:15～13:45 岩知志ふれあい館

14:15～14:45 豊糠生活改善センター

※利用者カードなしでも、ご利用できます。

※本の返却、不用になった本のご寄贈も受け付けます。



■第83回 平取地区メーデー（5月1日）

世界各地で毎年5月1日に行われる労働者の祭典であるメーデー。平取地区でも、それぞれの権利要求を掲げたプラカードにより、デモ行進を行っていました。

俳句の実情

流水が青き地球を斑にす	柴田 紫梢
花の芽や話しはつきぬ老二人	西塔しづえ
夢託す仔馬を描く孫の背	吉野千佳女
鯉のぼり風雨にめげぬ尾の強さ	中道 サト
よろめきつ乳房を探ぐる濡れ仔馬	山崎 喜峰
故郷の香り豆腐の芽山椒	遠藤 紫光
藁で拭く濡れし仔馬の長き脚	内海アヤ子
供え花雪に挿し込む彼岸かな	渡辺 正子
春嵐 <small>はるあき</small> 一日無言の妻の留守	井内 青風
山笑ふ高齢免許更新す	清水 眞子
新茶入れ八十路の主婦の野球談	石森 礼子

町の人口

人口	5,584	(56)
男	2,697	(32)
女	2,887	(24)
世帯数	2,602	(39)
外国人登録数	134	

()内は前月比 4月末現在